



平成27年1月号

杉並区立井荻小学校

おぎ
だより

平成27年1月9日発行 No.558

「自分さがし」と「自分づくり」

校長 梅津 典子

明けましておめでとうございます。皆様におかれましては素晴らしい新年をお迎えのことと思います。寒波の襲来で、例年より寒い新年ではありましたが、穏やかな天候で、ゆっくり過ごされたことと思います。昨年は天災や事故が多く、自然の猛威に心痛めた日々でありましたが、今年は、温かく人を包み込むような「ひつじ」の姿にふさわしく明るく穏やかな年でありたいと願っています。

さて、年の初めに、「なぜ、学ぶのか」をもう1度、考えたいと思います。子どもはよく、「なぜ勉強しなければならないの」と問いかけてきます。この問いに私たち大人は、「将来、必要だから」「勉強しないと将来困るから」と「将来」を引き合いに出して、説明しようとしています。しかし、子どもの問いは、将来でなく「今」にあります。ですから、今なぜ勉強しなくてはならないのか、なかなか納得することができません。

大人の答える「将来」の中身をもう少し詳しく説明すると、「今、つらくても勉強すれば、将来、なりたいものに何にでもなれるんだよ。だから、頑張りなさい。」ということになります。が、「何にでもなれる」本当にそうでしょうか？

将来、何にでもなれるのなら、「自分はどんな人間なんだろう」「自分のよい所は何だろう」というような自分について考える「自己の発見」は必要なくなってしまいます。何にでもなれるのだから、自分はどうかあるべきか、自分の個性や特性はどこにあるかなど、考えるだけ無駄になってしまいます。

学ぶ意味が分からないと、子どもは学習が嫌になったり拒否したり、放り出してしまったりします。学校へ行くことすら嫌になってしまうかもしれません。学ぶことは簡単なことではないし、我慢が必要なこともあるかもしれません。しかし、苦しい学び

を通して知らないことを知る喜びや、できなかったことができる喜びを知ることによって、自分が分かり、自分がつくられていきます。

高校中退や大学中退、若い人の転職が増加しているのは、「何にでもなれる」という考え方が壊れ、目標を失っているからではないでしょうか。遅まきながら、自分はどんな人間なのか、どんなことをしたいのかという「自分さがし」を始めたように思えます。

「自分のよいところはここにある。こういうところを伸ばしていけばいい。」「自分の苦手なところはこれである。これを直すには、こんな勉強をすれば補える。」このように自分を知り、自分を創っていくために学んでいくのだと思います。

「何故、学ぶのか？」それは、「幸せになるため」と答えた人がいます。「自分さがし」をし「自分づくり」のできた人は自分に合う仕事や生き方をし、幸せになれるのではないのでしょうか。

子どもたちにも学びを通して「自分さがし」と「自分づくり」をさせていきたいと思っています。



冬の野鳥観察会

12月2日（火）3年生から6年生までの児童が善福寺公園に野鳥観察会へ行きました。
ゲストティーチャーの方々にご協力いただき、学年ごとの学習のめあてをもって観察しました。



善福寺公園に到着！どんな野鳥と
出会えるか、わくわくしました。



あ、なにか見つけたよ！



池の中に鳥がいるよ！
双眼鏡で必死に追いかけてました。



サポーターさんの話に興味津々。身近な
善福寺公園にこんな野鳥がいたなんて！



自然に囲まれて、心がほっとする、いい時間となりました。



守ろう、みんなの善福寺川

井荻小の敷地内を流れる善福寺川。野鳥も多く訪れる豊かな自然環境は、井荻小の自慢の一つです。しかし、よく見ると川には空き缶やビニール袋が落ちていることに気がきます。氾濫を防ぐために掘り下げられ、コンクリートで固められた川から、これらのゴミを拾い出すことはできません。

今からちょうど5年前、当時の5年生が社会科の学習で、京都の鴨川について学習しました。工場排水などで汚れていた鴨川が、市民や行政など様々な人の協力により美しさを取り戻したことを知り、「自分たちにもできることはないか」と自主的に周辺道路の清掃活動を始めました。川の中のゴミは拾えなくても、道路のゴミは拾うことができます。実は、善福寺川をはじめ、都市河川の多くは大雨が降ると下水が川に流れ込む仕組みとなっています。つまり、周辺道路に落ちているゴミは、排水溝から下水管を通して川に流れ込んでしまうのです。

この清掃活動は、6年生の伝統となり、卒業が近くなると最上級生のバトンと共に引き継がれます。今も週に1回、放課後に自主的に集まって活動を続けています。

～放課後の清掃活動～

井荻小を出発して川沿いを進み、善福寺公園の下池を1周して帰ってきます。この区間に、多い日は1kgを超えるゴミを拾ったり、タバコを70本以上も拾ったりすることもあります。落ちているゴミのほとんどは、大人が捨てるゴミです。

活動を続ける秘訣は、「楽しむこと」だそうです。やらされるのではなく、自分から動く“生きた学び”がここにあります。



引き継ぎ後の清掃活動の様子

～川の中の清掃活動～

道路を清掃していると川の中のゴミが目につきます。しかし、善福寺川は都の許可がない限り、中に入ることはできません。普段、子どもたちは、「あのゴミを拾いたい！」と、手の届かない所から悔しい思いをしています。

井荻小の6年生は年に1度だけ、すぎなみ環境ネットワークの協力を得て、川の中に入った清掃活動を行っています。川に降りてみると、草に絡まった白い紙のようなものに気がきます。これは、大雨の際に下水と一緒に流れてきたトレット[®]-パ[®]-です。せっかくの湧水と豊かな自然も、これでは台無しです。



草に絡みついたトレット[®]-パ[®]-

～小中合同クリーン運動～

12月には、荻窪中学校の2年生と、井荻小の6年生が合同で地域の清掃活動を行いました。これも、「もっと広い範囲を清掃したい」という子どもたちの声から始まった活動です。特に駅前の商店街などは、目を覆いたくなるゴミの量でした。反対に、地域の方の手や目が行き届いている場所があることも知ることができました。



1月行事予定

1	木	元日
2	金	
3	土	
4	日	
5	月	
6	火	
7	水	
8	木	始業式 大掃除
9	金	委員会 安全指導 給食始
10	土	土曜クラブ 囲碁・マナーキッズテニス
11	日	
12	月	成人の日
13	火	生活リズム表始
14	水	研究会のため4時間授業
15	木	体育集会
16	金	校内書き初め展始 4時間授業(研究会準備のため)
17	土	研究発表会・生活リズム表終
18	日	たこあげ大会(桃井原っぱ公園)
19	月	振替休業日
20	火	
21	水	4時間授業(研究会のため)
22	木	B時程5時間授業 ユニセフ集会 理科教室3年 校内書き初め展終
23	金	避難訓練
24	土	土曜クラブ お箏・生け花教室
25	日	もちつき大会(善福寺児童館)
26	月	クラブ
27	火	B時程
28	水	ふれあいタイム いおぎ保育園と交流5年
29	木	集会
30	金	連合書き初め展始
31	土	連合書き初め展終 漢字検定・ガムラン教室

1月の生活目標 「心と体をきたえよう」

生活指導部 横山 美佳

新学期がスタートして、再び学校に子どもたちの元気な声が戻ってきました。ご家族や親戚の皆さん等と楽しく冬休みを過ごした子どもたちは、満足した表情で登校してきました。寒中という一年で一番寒い時期ですが、寒さに負けず体を動かして欲しいと思います。

寒さの中、我慢して活動することで、体だけでなく心もきたえられてより強く、たくましくなります。草や花が、長い冬の間じっと寒さに耐え、冬を越した時によりきれいな花を咲かせること、逆に厳しさを知らずに育った花は、きれいな花は咲かせるけれど、病気に負けたり、ちょっとした環境の変化に対応できずすぐに枯れたりしてしまうことと似ています。

子どもたちも、寒いからといってずっと部屋の中で過ごしたり、必要以上に服を着込んだりせず、あえて寒さの中に飛び込む。そうすることで、皮膚から感じ取る寒さ感覚が自律神経を刺激し、寒さで体をきたえられると考えます。インフルエンザなど流行する季節、風邪に対する抵抗力・免疫力を高めて3学期も元気よく過ごしてほしいと思います。

受賞おめでとう！

本校児童が以下の賞を受賞しました。おめでとうございます。

●杉並区図書館を使った調べる学習コンクール 奨励賞

2年2組 落合琉太さん「ネコってにゃんだろう」

5年1組 廣居龍さん 「味噌の研究」

●東京都読書感想文コンクール 杉並区代表

6年1組 諏訪野々花さん

「ゾウのいない動物園を読んで」

平成26年度 校内書き初め展

子どもたちの力のこもった作品をぜひご覧ください。

○期間 1月16日(金)～1月22日(木) 9:00～16:30

○場所 各教室前廊下

※本年度は、掲示場所が変わります。17日(土)以外はお履物をお持ちの上、ご来校ください。